

平成29年 8 月24日

陳情第113号

二宮金次郎の事績を大河ドラマの題材として採用することを求めるため、日本放送協会（NHK）に要望書を提出することを求める陳情

二宮金次郎の事績を大河ドラマの題材として採用することを求めるため、日本放送協会（NHK）に要望書を提出することを求める陳情

【陳情趣旨】

文部科学省が定める学習指導要領の改訂に伴い、平成30年度から全国の小学校において、「特別の教科」道徳が授業に取り入れられることになりました。小田原市教育委員会でも、7月21日に平成30年度から使用する道徳の教科用図書の採択も行われております。

道徳の教科化が進められる理由の一つとして、学校内の「いじめ問題」が挙げられますが、一方で公德心の衰退を若年世代で食い止めようとの意気込みがあることも理由として挙げられるようです。

さて、そうした経緯の下で道徳教育を円滑に実施するにあたり、小田原市には模範とすべき著名な先人がいたことは全国的にも知られています。

後に二宮尊徳と称される郷土の偉人の事績を、二宮金次郎としての少年時代からたどることで、時代と世代を超えた人生の規範とすべき経験の共有を図ることができるのではと考えます。

小田原市では、永年に渡り戦国大名北条家五代を題材とした大河ドラマの制作・放映をNHKに申し入れてきたわけですが、中世の大家であるため時代考証資料の散逸や不足、あるいは天下取りが叶わなかったからか、制作・放映を検討していただくことは実現しておりません。

しかし、二宮金次郎は近世の人物であることと、日本各地での活躍が評価されていることから、時代考証がそれほど困難であるとは思えません。

学校教育における道徳教育を円滑に実施するうえでも、郷土の偉人の事績を少年時代から学ぶことは、同時進行で映像として印象付けられることで更に効果的なものとなります。副次的効果として、観光振興にも寄与することが期待されます。

後世の児童・生徒のためにも、映像資料として保存できる可能性を希求することが必要です。

そこで、主に日曜日夜8時に大河ドラマとして全国放送をしているNHKに対し、二宮金次郎の事績を題材として取り上げていただくよう、小田原市議会として要望書を提出していただきたいと思っております。

【陳情項目】

小田原市議会として、日本放送協会（NHK）に対し、二宮金次郎の事績を大河ドラマの題材として採用することを求める要望書を提出すること。

平成29年8月24日

小田原市議会議長

加藤 仁司 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞